

令和5年度北海道美深高等養護学校あいべつ校 第1回学校運営協議会 議事録

1 日時

令和5年(2023年)7月7日(金) 13:00~14:30

2 場所

北海道美深高等養護学校あいべつ校 視聴覚室

3 出席者

(1) 学校運営協議会委員

氏名	所属等
片 桐 正 敏	北海道教育大学旭川校 教授
武 田 典 明	愛別町役場総務企画課長
菊 地 美智子	愛別町教育委員
長 屋 修 二	愛別町商工会 会長
鈴 木 彰	愛別町社会福祉協議会 会長
藤 原 ゆ き	美深高等養護学校あいべつ校PTA会長
濱 裕 晃	北海道美深高等養護学校 校長

※ 欠席者:菊地美智子様、長屋修二様

(2) 本校職員

氏名	所属等
日 向 昌 弘	教務部長
太 田 勉	進路指導部長
桑 名 優 介	生徒指導部長
板 垣 宗 平	産業総合科長
梶 原 淳	教頭
助 安 由紀子	事務部(事務主任)

4 校長挨拶

本協議会設置の趣旨説明

5 学校運営協議会委員紹介

教頭の紹介の後、一言挨拶

6 委託状交付

校長より、委員一人一人に委嘱状交付

7 職員紹介

教頭から職員紹介の後、一言挨拶

8 日程説明

教頭から日程の説明

9 協議事項【学校運営に関すること】

(1) 学校運営協議会の設置について、北海道美深高等養護学校運営協議会設置要綱【教頭から】

ア 地域とのつながりを大切に持続可能な教育活動の実践を支えていきたい。

イ 設置要綱について、御覧いただくように説明。

ウ 質疑なし。

(2) 令和5年度(2023 年度)学校経営方針について【校長から】

ア グランドデザインの説明

イ 地域と学校が互いに win-win になる関係づくりをしていきたい。

ウ 地域と連携した教育活動について、皆さんでアイデアを出していただきたい。

エ 質疑なし。

(3) 本校の教育内容等について【教頭から】

ア パワーポイントと資料を用いて説明

イ あいべつ版のデュアルシステムは、生徒にとって働く力やコミュニケーション力を身に付けさせることができる有効な教育活動である。

ウ 地域連携について、開催要項を用いて説明

エ 質疑なし。

(4) 教育委員会規則及び取扱事項について【教頭から】

ア 道教委に申請し、認められている。

イ 会長は片桐教授に、副会長については武田様をお願いしたい。

ウ 会議の開催には、過半数の出席が必要である。

エ 委員は報酬として日額 1,000 円が支給される。

オ 質疑なし。

10 協議事項【学校支援に関すること】

「テーマ:地域と連携した教育活動の状況と課題について」【座長:教頭】

(1) 卒業生の就労先を愛別町内で確保していきたいと役場としても考えていきたい。

(2) 生活の場の確保も計画的に進める必要がある。

(3) あいべつ校の作業製品を、ふるさと納税の返礼品や町内での出産のお祝いに贈呈ができないか。

(4) 清掃作業も、町としてはもっといろんなところをやってほしいと考えている。

(5) 町内の施設の空きスペースを利用して、あいべつ校の製品を常設展示して町民に見てもらい、そこを使って販売会をするのも良いと思う。商工会に相談するのも良いと思う。

(6) 外部への販売会には、あいべつ校のリーフレット(学校案内)を添付して、学校のアピールをする。

11 校長挨拶

(1) 第 1 回学校運営協議会開催についての謝辞

(2) 協議をとおして、学校だけで考えてきたものが、関係機関と結びつくことでグレードアップしていくのではないかと考える。

12 諸連絡

(1) 次回は 11 月~12 月を予定している。

(2) 報酬や交通費等について連絡